

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3201736号
(U3201736)

(45) 発行日 平成27年12月24日 (2015. 12. 24)

(24) 登録日 平成27年12月2日 (2015. 12. 2)

(51) Int.Cl.

B 6 5 D 23/00 (2006.01)

F 1

B 6 5 D 23/00

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号	実願2015-5180 (U2015-5180)	(73) 実用新案権者	514233347
(22) 出願日	平成27年10月14日 (2015. 10. 14)		株式会社ワールドワン
			広島県広島市西区東観音町 3 番 2 2 号
		(74) 代理人	100062328
			弁理士 古田 剛啓
		(74) 代理人	100146020
			弁理士 田村 善光
		(72) 考案者	田中 岳子
			広島市西区東観音町 3 番 2 2 号 株式会社
			ワールドワン内

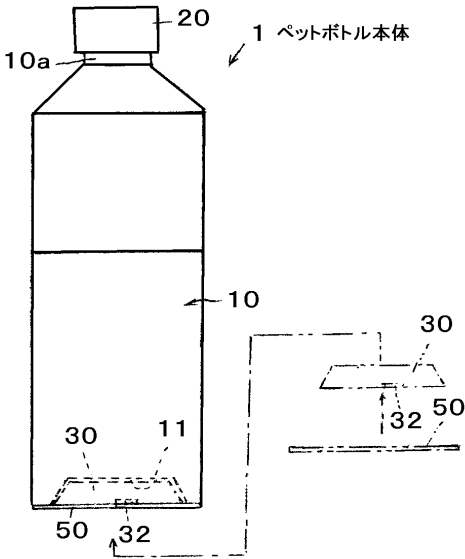
(54) 【考案の名称】 音声発生ペットボトル製品

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 音楽やお祝いのメッセージなどを発する音声発生機能を備えたペットボトル製品を提供する。

【解決手段】 飲料などの内容物を収納し、取付凹部 1 1 を有するペットボトル本体 1 0 と、ペットボトル本体を密閉するキャップ体 2 0 と、ペットボトル本体の取付凹部に取付けられる音声発生器 3 0 とを備える。音声発生器を、少なくとも、電池と、スイッチ 3 2 と、音声発生機能部とで構成する。また、音声発生機能部を、少なくとも、スイッチの操作によって所定の音声信号を出力する音声集積回路と、音声集積回路からの音声信号によって音声を発するスピーカーとで構成する。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

飲料などの内容物を収納するペットボトル本体（１０）と、
前記ペットボトル本体を密閉するキャップ体（２０）と、
前記ペットボトル本体に取付けられ、少なくとも、電池（３１）、スイッチ（３２）および音声発生機能部（３３）を有する音声発生器（３０）と、を備えることを特徴とする音声発生ペットボトル製品。

【請求項 2】

飲料などの内容物を収納し、取付凹部（１１）を有するペットボトル本体（１０）と、
前記ペットボトル本体を密閉するキャップ体（２０）と、
前記ペットボトル本体の取付凹部に取付けられる音声発生器（３０）と、を備え、
前記音声発生器を、少なくとも、電池（３１）と、スイッチ（３２）と、音声発生機能部（３３）とで構成し、

前記音声発生機能部を、少なくとも、前記スイッチの操作によって所定の音声信号を出力する音声集積回路（３３）と、前記音声集積回路からの音声信号によって音声を発するスピーカー（３４）と、で構成したことを特徴とする音声発生ペットボトル製品。

【請求項 3】

飲料などの内容物を収納するペットボトル本体（１０）と、
前記ペットボトル本体を密閉するキャップ体（２０）と、
前記ペットボトル本体に取付部材（４０）を介して取付けられる音声発生器（３０）と、
前記音声発生器を、少なくとも、電池（３１）と、スイッチ（３２）と、音声発生機能部（３３）とで構成し、

前記音声発生機能部を、前記スイッチの操作によって所定の音声信号を出力する音声集積回路（３３）と、前記音声集積回路からの音声信号によって音声を発するスピーカー（３４）と、で構成したことを特徴とする音声発生ペットボトル製品。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本考案は、音声発生機能を備えたペットボトル製品に関するものである。

【背景技術】

【０００２】

天然水やジュース類などの各種の飲料を収納したペットボトル製品が数多く販売されている。これらのペットボトル製品は、ガラス瓶製品等と比較して安価で軽量でありその取扱いが容易であるため、一般家庭内のみでなく、例えば、お祭り会場や各種のイベント会場といった多くの人々が楽しく集う場所でも数多く販売されている。また、最近では誕生会や、時には結婚披露宴などの祝賀会の場でも提供されるようになっている。

【０００３】

こうしたペットボトル製品は、一般に、ボトル本体の周壁にラベルを巻き付け、そのラベルにボトル本体に収納した内容物や販売会社等を記載しているに留まっている（例えば、特許文献１参照）。従って、例えば、誕生会などの祝賀会の場においても、単なる通常のペットボトル製品として利用されているに過ぎない。また、ペットボトルに点滅する発光装置を付けた（特許文献２参照）、音声や音楽の出る歯ブラシも知られている（特許文献３、４参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００４】

【特許文献１】特開２００６－１９３２０７号公報

【特許文献２】実用新案登録第３１９４４６７号公報

【特許文献３】特開２００６－４２９６６号公報

10

20

30

40

50

【特許文献４】特開昭６０－２１０２０９号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【０００５】

誕生会や結婚披露宴などの祝賀会の場合では、豪華な料理や大きなケーキが提供されて楽しい音楽が流されるなど、非日常的な華やかさが求められる。これまでに、特定の製品（例えば、歯ブラシ）にそれが持つ機能に加えて、その機能をより効果的に発揮させるための補助的な機能（例えば、音楽）を持たせた製品が創案されている。

【０００６】

ここで、ペットボトル製品がそれが持つ本来の機能に加えて、華やかさを演出するための機能を持たせれば、祝賀会をさらに楽しいものとすることができると考えられる。本考案はこうした点に鑑み創案されたもので、音楽やお祝いのメッセージなどを発する音声発生機能を備えたペットボトル製品を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

図１乃至図５を参照して説明する。請求項１に記載の音声発生ペットボトル製品１は、飲料などの内容物を収納するペットボトル本体１０と、前記ペットボトル本体１０を密閉するキャップ体２０と、前記ペットボトル本体１０に取付けられ、少なくとも、電池３１、スイッチ３２および音声発生機能部３３を有する音声発生器３０とを備える。ここで、音声発生機能部３３は、デジタル方式あるいはアナログ方式とすることができる。

【０００８】

請求項２に記載の音声発生ペットボトル製品１は、飲料などの内容物を収納し、取付凹部１１を有するペットボトル本体１０と、前記ペットボトル本体１０を密閉するキャップ体２０と、前記ペットボトル本体１０の取付凹部１１に取付けられる音声発生器３０とを備える。

【０００９】

また、前記音声発生器３０を、少なくとも、電池３１と、スイッチ３２と、音声発生機能部３３とで構成する。さらに、前記音声発生機能部３３を、少なくとも、前記スイッチ３２の操作によって所定の音声信号を出力する音声集積回路３３ａと、前記音声集積回路３３ａからの音声信号によって音声を発するスピーカー３３ｂとで構成する。

【００１０】

請求項３に記載の音声発生ペットボトル製品１は、飲料などの内容物を収納するペットボトル本体１０と、前記ペットボトル本体１０を密閉するキャップ体２０と、前記ペットボトル本体１０に取付部材４０を介して取付けられる音声発生器３０とを備える。

【００１１】

また、前記音声発生器３０を、少なくとも、電池３１と、スイッチ３２と、音声発生機能部３３とで構成する。さらに、前記音声発生機能部３３を、少なくとも、前記スイッチ３２の操作によって所定の音声信号を出力する音声集積回路３３ａと、前記音声集積回路３３ａからの音声信号によって音声を発するスピーカー３３ｂとで構成する。

【考案の効果】

【００１２】

請求項１に記載の音声発生ペットボトル製品１は、飲料などの内容物を収納するペットボトル本体１０と、ペットボトル本体１０を密閉するキャップ体２０と、ペットボトル本体１０に取付けられ、少なくとも、電池３１、スイッチ３２および音声発生機能部３３を有する音声発生器３０とを備えるので、スイッチ３２を操作することによって、電池３１の電力を使用して音声発生器３０から音楽やメッセージ（人の声）などの音声を自在に流すことができる。

【００１３】

この音声発生ペットボトル製品１は、特に、誕生会や結婚披露宴を初めとする祝賀会などの華やかな場或いはコンサートでの使用に効果的である。すなわち、例えば、コンサー

10

20

30

40

50

トにおいては本考案に係る音声発生ペットボトル製品１から、コンサートに直接関係する音楽が流れ出ることにより、コンサートを盛り上げることが出来る。

【００１４】

請求項２に記載の音声発生ペットボトル製品１は、請求項１に記載の考案と同様に、特に華やかな場において、音楽やメッセージなどの音声を自由に流すことができる。

【００１５】

また、音声発生器３０はペットボトル本体１０の取付凹部１１に取り付けているので、ペットボトル本体１０から外側に突出しないように取り付けることができる。従って、音声発生器３０が、ペットボトル製品１を取り扱う際の邪魔になるといった事態を未然に防止することができる。

【００１６】

請求項３に記載の音声発生ペットボトル製品１は、請求項１および２に記載の考案と同様に、特に、誕生会や結婚披露宴などの華やかな場で効果的である。また、音声発生器３０を、取付部材４０を介してペットボトル本体１０に取り付けているので、当該音声発生器３０を強固に安定姿勢で取り付けることができる。

【図面の簡単な説明】

【００１７】

【図１】本考案の第一実施形態に係る音声発生ペットボトル製品を示す正面図である（各部材を組み付けた状態を示す）。

【図２】図１に示す音声発生ペットボトル製品の要部正面断面図である。

【図３】図１に示す音声発生ペットボトル製品の部分断面底面図である。

【図４】本考案の第二実施形態に係る音声発生ペットボトル製品を示す一部断面正面図である（各部材を組み付けた状態を示す）。

【図５】本考案の第二実施形態に係る音声発生ペットボトル製品を示す一部断面正面図である（各部材を組み付ける前の状態を示す）。

【図６】本考案の第一および第二実施形態に係る音声発生ペットボトル製品における音声発生器の電気回路を示すブロック図である。

【考案を実施するための形態】

【００１８】

本考案に係る音声発生ペットボトル製品１の第一実施形態を、図１乃至図３および図６に示す。当該ペットボトル製品１は、ペットボトル本体１０、キャップ体２０および音声発生器３０を備える。

【００１９】

ペットボトル本体１０は、５００ミリリットル前後の容積を有する略円筒状で、飲料（水やジュースなど）である内容物を収納する。このペットボトル本体１０の底部には、内方に向かって窪ませた取付凹部１１を形成している。なお、このペットボトル本体１０は円筒状であるが、四角筒状であっても良い。キャップ体２０は樹脂製で、ペットボトル本体１０の首部１０ａに螺合して組付き、当該ペットボトル本体１０を密閉する。

【００２０】

音声発生器３０は、ペットボトル本体１０に形成された取付凹部１１に収納できる大きさと、その形状に対応しており、当該取付け凹部１１に接着剤あるいは係合などの取付け手段によって取付けられる。この音声発生器３０は、少なくとも、電池３１と、スイッチ３２と、音声発生機能部３３とで構成される。

【００２１】

なお、本実施形態に係る音声発生ペットボトル製品１は、ペットボトル本体１０の取付凹部１１に取付けた音声発生器３０の脱落を未然に防止するために、ペットボトル本体１０の底面に肉薄の支持部材５０を貼り付けている。

【００２２】

電池３１は、音声集積回路３３ａおよびスピーカー３３ｂの電源である。本実施形態で使用する電池３１としては、限定されるものではないが、電圧が１～３．５ボルト前後の

10

20

30

40

50

小型電池である。

【0023】

スイッチ32は、音声集積回路33a等への電流を供給および遮断するものであり、例えば、センサー式やタッチ式のものを使用することができる。このスイッチ32の設置箇所としては、センサー式の場合はペットボトル本体10の側面又は上面が好ましい。側面又は上面に設置することによって、ペットボトル本体10を置いたままでスイッチ32の切替を容易に行うことができる。

【0024】

また、タッチ式の場合はペットボトル本体10の底面側に設置することが好ましい。その場合、前記支持部材50は肉薄の柔軟性材料で形成したり、あるいはスイッチ32に対応する箇所に穴部（図示せず）を設けることが好ましい。こうすることによって当該スイッチ32の操作を容易なものとすることができる。

10

【0025】

また、音声発生機能部33は、スイッチ32の操作によって所定の音声信号を出力する音声集積回路33aと、音声集積回路33aからの音声信号によって音声を発するスピーカー33bとで構成される。なお、この音声発生機能部33には、必要に応じて増幅器（アンプ）などを設け、音量の調整を図ることができる。

【0026】

音声集積回路33aは、所定の音楽やメッセージなどの音声信号を、スイッチ32の操作によってスピーカー33bに供給する。そして、スピーカー33bは、音声集積回路33aから供給された音声信号を共鳴させて音楽やメッセージ（人の声）として流す。スピーカー33bの種類は限定されるものではないが、小型で消費電力が少ない圧電スピーカーが好ましい。

20

【0027】

本考案に係る音声発生ペットボトル製品1の第二実施形態を、図4乃至図6に示す。当該音声発生ペットボトル製品1は、ペットボトル本体10、取付部材40、キャップ体20および音声発生器30を備える。

【0028】

ペットボトル本体10は、水やジュースなどの内容物を収納する。キャップ体20はペットボトル本体10の首部10aに螺合組付きして当該ペットボトル本体10を密閉する。

30

【0029】

取付部材40は樹脂製で、ペットボトル本体10の底部外周に嵌合する状態で組付く略カップ状である。この取付部材40は着脱自在としても良いし、固定式とすることもできる。

【0030】

音声発生器30は、ペットボトル本体10の底面とほぼ同じ大きさな平面形状（円形状あるいは矩形状）を備え、当該底面に取付部材40によって取付けられる。この音声発生器30の基本的な構造は第一実施形態のものと同じであり、少なくとも、電池31と、スイッチ32と、音声発生機能部33とを備える。

40

【0031】

音声発生機能部33は、スイッチ32の操作によって所定の音声信号を出力する音声集積回路33aと、音声集積回路33aからの音声信号によって音声を発するスピーカー33bとを備える。

【0032】

上記第一および第二実施形態に係る音声発生ペットボトル製品1は、次のようにして使用することができる。まず、この製品1は通常のペットボトル製品と同様に、キャップ体20を取り外してペットボトル本体10に収納している飲料を取り出すことができる。

【0033】

それに加えて、当該ペットボトル製品1は必要に応じて音声を発生させることができる

50

。すなわち、例えば、結婚披露宴において出席者のテーブルに当該音声発生ペットボトル製品１を置いておき、宴の雰囲気に応じて音声発生器３０のスイッチ３２を投入する。これにより、音声発生機能部３３の音声集積回路３３ａから披露宴にふさわしい音楽やメッセージなどをスピーカー３３ｂ通して披露宴会場に流すことができる。こうすることにより、結婚披露宴の雰囲気をさらに盛り上げることができる。なお、スイッチ３２を切り替えることによって音楽やメッセージを停止することができる。

【００３４】

本考案の第一および第二実施形態に係る音声発生ペットボトル製品１は、以下の作用効果を発揮する。

（甲）ペットボトル本体１０にスイッチ３２を備える音声発生器３０を取付けたので、必要に応じて音楽やメッセージなどの音声を流すことができる。従って、誕生会や結婚披露宴などの華やかな場で効果的に使用することができる。

【００３５】

（乙）音声発生器３０をペットボトル本体１０に形成した取付凹部１１に収納状態で取付けたので、当該音声発生器３０が外方に突出せず、よってペットボトル本体１０の取扱いの邪魔にならない（第一実施形態）。

【００３６】

（丙）取付凹部１１に取付けた音声発生器３０を支持部材５０で支持したので、当該音声発生器３０をペットボトル本体１０に安定して取り付けることができる（第一実施形態）。

【００３７】

（丁）音声発生器３０をペットボトル本体１０に取付凹部４０を介して囲むように取付けたので、当該音声発生器３０を安定姿勢で強固に取り付けることができる。また、音声発生器３０が外方に突出しないので、ペットボトル本体１０を通常通り容易に取扱うことができる（第二実施形態）。

【００３８】

（戊）ペットボトル本体１０に飲料である内容物を収納し、その首部１０ａにキャップ体２０を螺合組付けたので、通常の飲料用ペットボトル製品と同じように使用することができる。

【００３９】

なお、上記第一および第二実施形態における音声発生機能部３３は、音声集積回路３３ａを使用しているが、本考案はこれに限定されるものではなく、ＣＤやＭＤあるいは磁気テープなどあらゆるデジタル式およびアナログ式の手段を使用することができる。また、音声集積回路３３ａを含む音声発生器３０の大きさは上記二つの実施形態のものに限定されるものではない。

【００４０】

また、上記第一および第二実施形態に係る音声発生ボトル製品１において、音声発生器３０はペットボトル本体１０の底面に取り付けているが、本考案はこれに限定されるものではなく、その他の部分（例えば、ペットボトル本体１０の周壁部分）に取り付けることも可能である。

【００４１】

さらに、本考案に係る音声発生ボトル製品１は、特に、誕生会や結婚披露宴などの華やかな場にふさわしいが、音楽やメッセージを選択することによってその他の場（例えば、葬式など）においても使用することができる。

【符号の説明】

【００４２】

- １ 音声発生ペットボトル製品
- １０ ペットボトル本体
- １０ａ 首部
- １１ 取付凹部

10

20

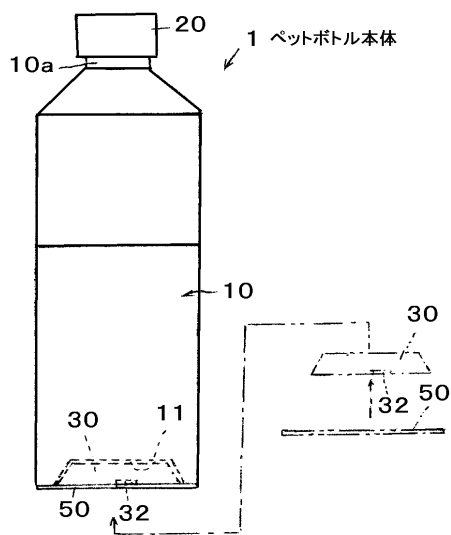
30

40

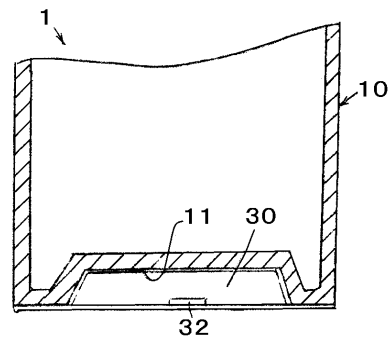
50

- 20 キャップ体
- 30 音声発生器
- 31 電池
- 32 スイッチ
- 33 音声発生機能部
- 33 a 音声集積回路
- 33 b スピーカー
- 40 取付部材
- 50 支持部材

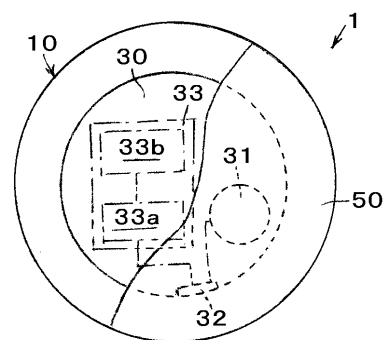
【図 1】



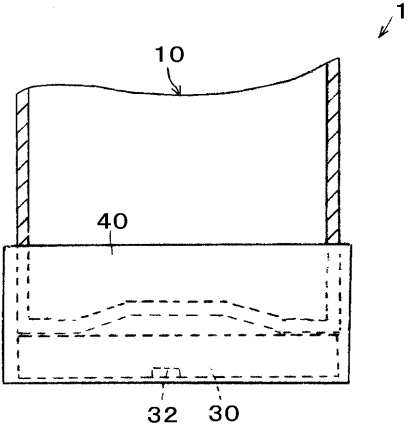
【図 2】



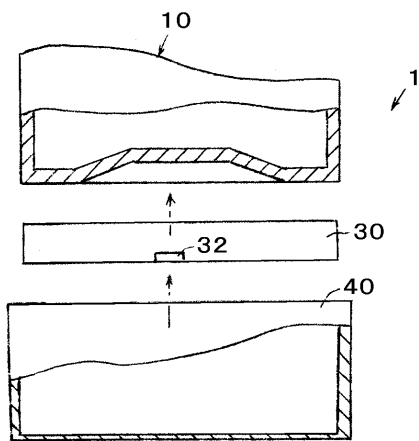
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

